

件名（事業名）	トレイルランニング大会における位置情報確認技術実証実験
実施年月日	平成26年7月1日（火）～平成27年3月31日（火）
実施場所	<p>（大会名）三原・白竜湖トレイルランレース  （所在地）広島県三原市 白龍湖</p> <p>（大会名）宮島トレイルランレース  （所在地）広島県廿日市宮島</p> <p>（大会名）瀬戸内アイランドトレイル  （所在地）広島県呉市上鎌刈島</p>
主催	中国電子タグ（RFID）利活用研究会 代表 桑田 昭 氏（株式会社アクトシステムズ代表取締役）
協賛	中国情報通信懇談会、プランニングフォースSORA
参加者数	延べ 約60名
内容	<p>舗装路以外の山野を走る陸上競技の中長距離走の一種であるトレイルランニングの大会において、怪我人が出るなどのトラブルが発生した際の位置の確認に非常に時間がかかるという課題がある。</p> <p>ICタグをはじめとした無線技術を使うことでこれらの課題を解決することを目的とする。</p> <p>解決したい課題は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主催者側はランナーの安全を確保したい。</li> <li>・ 従来のリーダーでは高価、電源が確保できないなどの課題あり</li> <li>・ 従来はゴール地点の通過チェックのみである</li> <li>・ 怪我人などの把握のため人を配置しているので人件費がかかる</li> </ul>
備考	